

## パッケージ2

### 津・松阪及び伊賀地方拠点都市地域の 拠点地区への連携を支援する街路整備

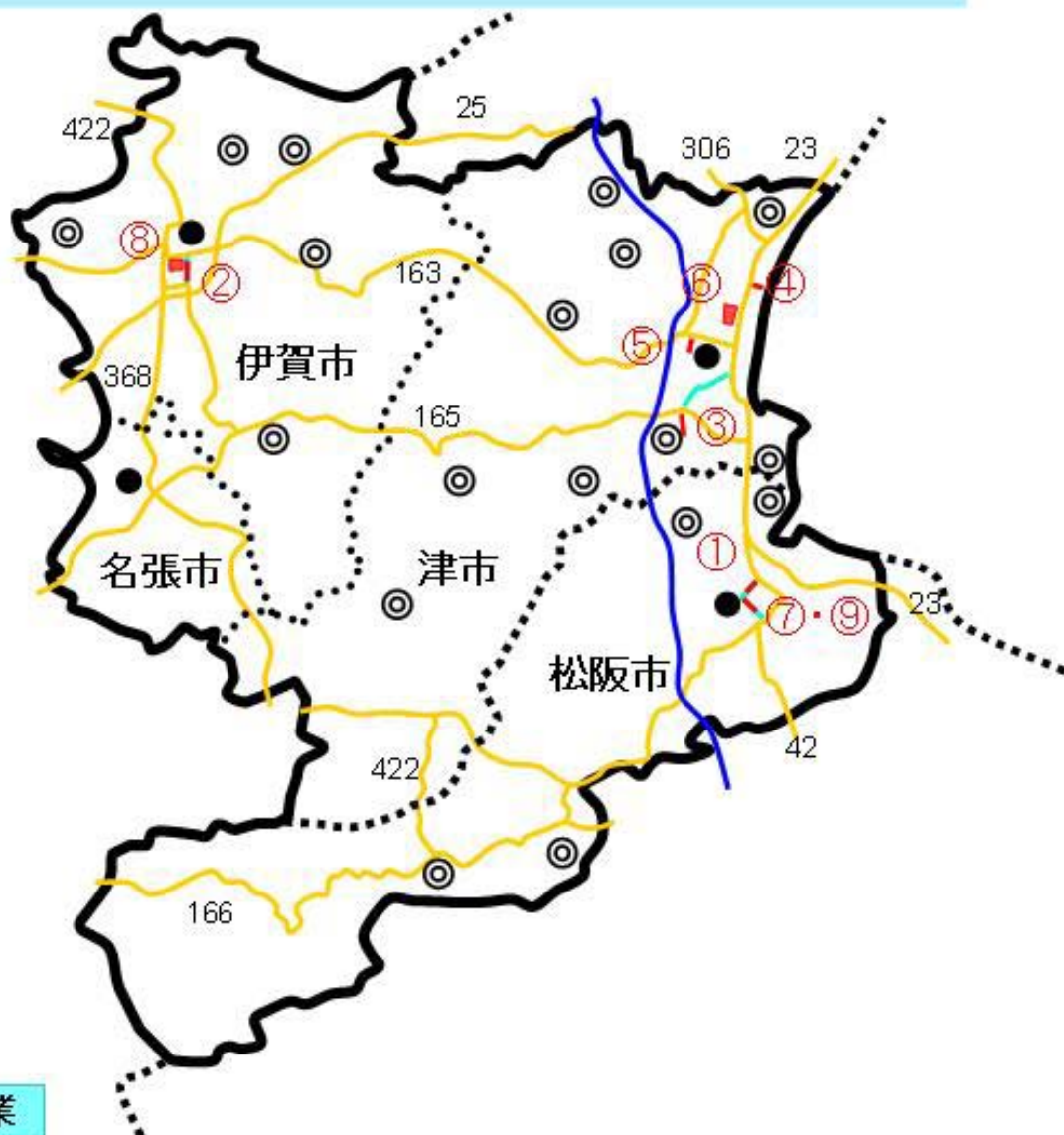
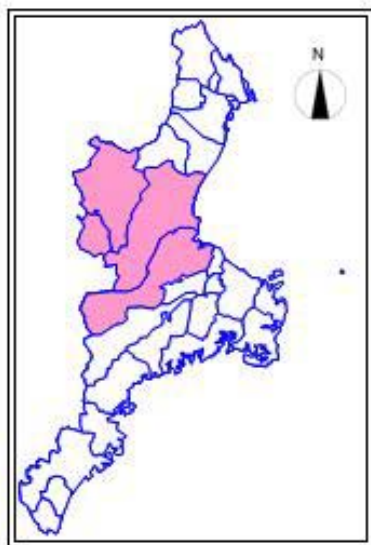
#### 事業の目的...

津・松阪及び伊賀地方を中心とする県央中核都市圏の形成を促進するとともに、周辺市町村との連携交流を強化する街路整備を図ります。

#### 事業の効果...

各都市地域における市町村合併を支援するとともに、安全で円滑な交通の確保や県民生活の利便性の向上が図られます。

#### 対象エリア



#### パッケージ2の要素事業

No	路線名
①	(都) 松阪公園大口線外1線
②	(都) 伊賀上野橋新都市線
③	(都) 相川小戸木橋線
④	(都) 栗真海浜線外1線
⑤	(都) 上浜元町線
⑥	(区画) 津駅前北部地区
⑦	(都) 高町松江岩内線(殿町)
⑧	(再開発) 上野市駅前地区
⑨	(都) 高町松江岩内線

凡例	
高速道路	
国道	
地方道	
要素事業	: 街路
	: 区画整理・再開発
市役所	
旧市町村役場	

## ■「成果目標」について...

成果目標とは、街路整備が完了(部分供用、完成供用)した場合に、期待される効果を時間などの数値で設定したものであり、事前に目標を設定し、その達成度を事後に評価します。

パッケージ2は、9箇所の要素事業で構成され、これらの都市計画道路の整備により、自動車等で通行した際に要する時間(移動時間)を短縮することを目標としており、この移動時間を「アウトカム指標」としています。

パッケージ2での現況値及び目標値は下記のとおりであり、現況では移動するのに約18分必要としていたのが、H19には約11分の移動となり、約7分の時間短縮が図れます。

現況値 (H16)	中間目標値 (H17末)	最終目標値 (H19)
17.6分	13.8分	10.9分

## ■「中間評価」について...

中間評価は当初に設定したH17年度末時点での目標(値)に対して、実績(値)がどの程度に達しているかを検証するものです。

パッケージ2の中間目標に資する要素事業は2箇所あり、「伊賀上野橋新都市線」「栗真海浜線外1線」ともに完成供用し、目標を達成することが出来ました。

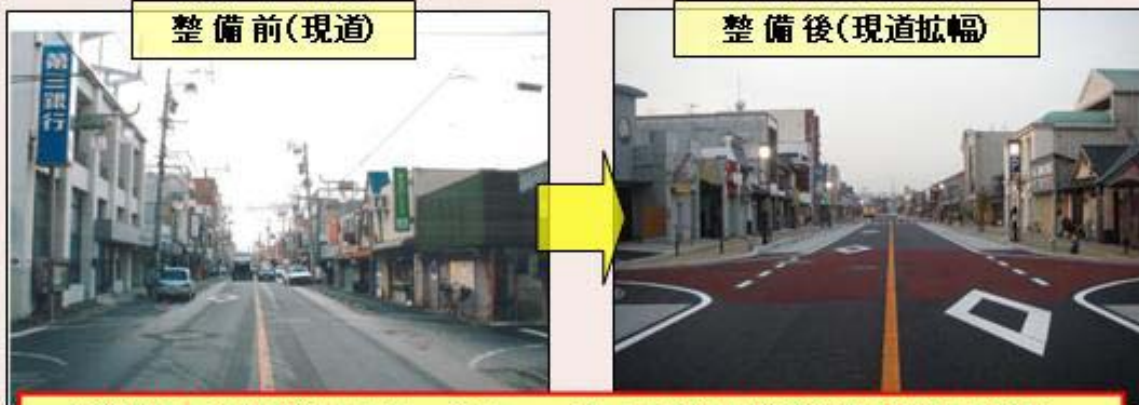
現況値 (H16)	中間値(H17末)	
	目標	実績
17.6分	13.8分	13.8分

**目標達成!**

## ■「整備状況」について...

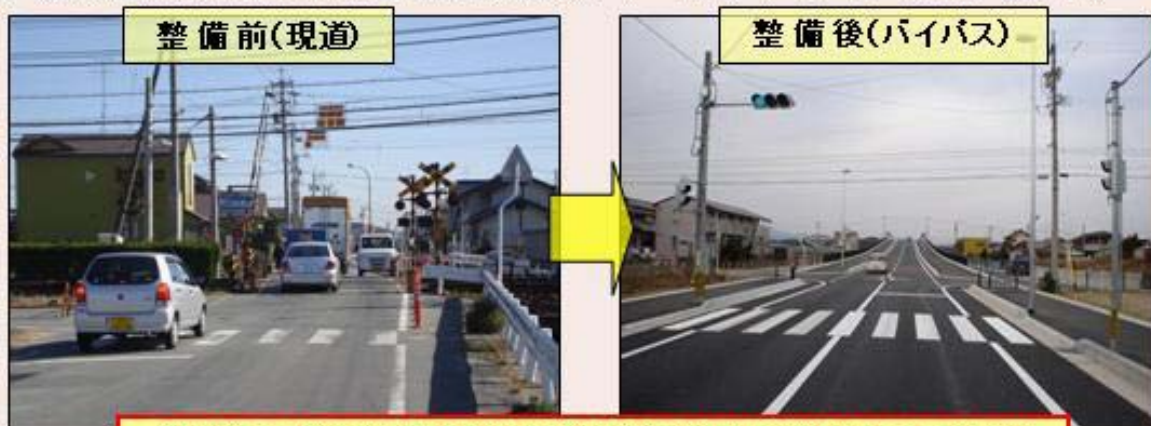
### 「完成箇所」

- ② (都)伊賀上野橋新都市線 伊賀市東町～恵比寿町 L=0.6km (三重県)



伊賀市中心市街地のシンボルロードとして魅力ある都市景観の創出。

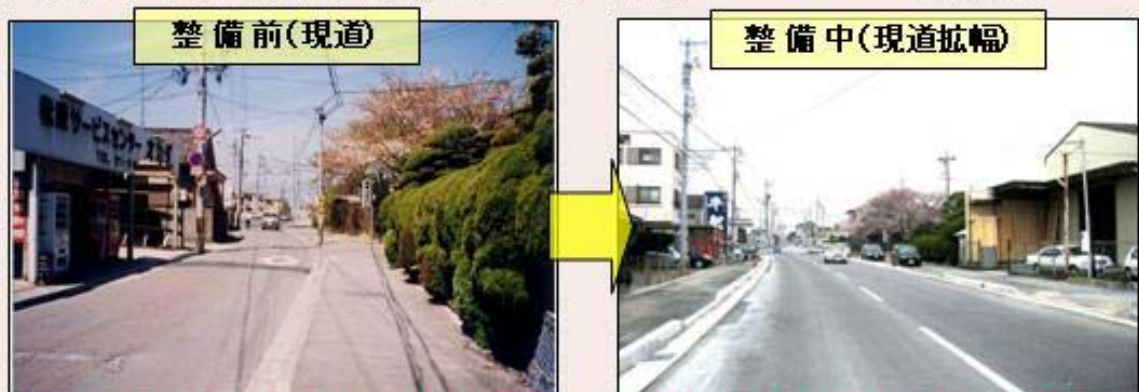
- ④ (都)栗真海浜線外1線 津市栗真小川町～白塚町 L=0.9km (津市)



鉄道による市街地の分断及び渋滞を立体交差化により解消

### 「整備中箇所」

- ⑦ (都)高町松江岩内線 松阪市黒田町～殿町 L=0.6km (松阪市)



車と人が輻輳する危険箇所を整備し、交通安全の確保とともに電線類を地中化

# 整備事例

都市計画道路 栗真海浜線外1線 津市栗真小川町～白塚町

事業の目的：本路線は鉄道により分断された市街地の一体化を図るとともに、津市北東部(白塚地区)において、国道23号へアクセスする唯一の道路が鉄道と平面交差のため発生している慢性的な渋滞を立体交差化することにより解消します。また当該地区は住宅が密集し、道路が狭隘であることから、広幅員都市計画道路の整備により緊急車両の進入や防災面での拡充を図ります。(平成17年12月完成供用)



## 栗真海浜線による主な整備効果

- ◎適切な交通量の配分(並行路線の交通量が58%減少)
- ◎踏切部での渋滞が解消(40.5m→10.8m)
- ◎旅行速度の大幅な向上(23.6km/h→40.3km/h)
- ◎防災機能の向上(緊急車両等のスムーズな活動に貢献、広幅員道路による延焼防止機能の向上)